

News Release

(報道発表資料)

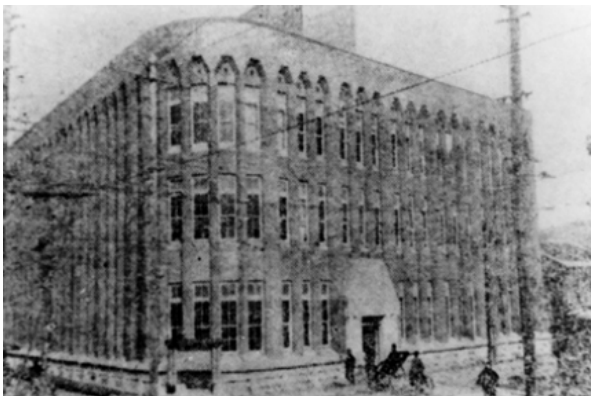
2024 年 9 月 11 日

西日本電信電話株式会社 北九州支店

門司電気通信レトロ館

NTT 西日本 門司ビル（現：門司電気通信レトロ館）完成 100 周年について

西日本電信電話株式会社北九州支店（支店長：鬼丸有正）管内における NTT 西日本 門司ビル（北九州市門司区）の建物については、来る 10 月 18 日（金）、完成より 100 年を迎えます。改めて門司ビルの建物の特徴や見どころをお伝えします。



1924 年当時の様子



現在の様子

1. 建物の特徴について

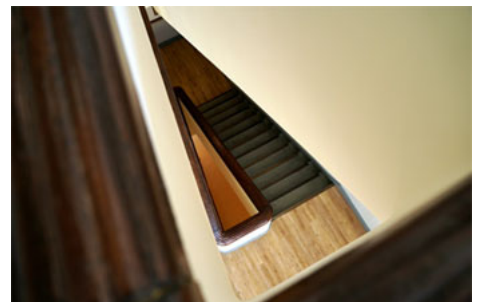
1924（大正13）年に逓信省門司郵便局電話課庁舎として建築された当建物は、「京都タワー」や「日本武道館」を設計した山田 守氏の最初期のもので、確認されている中では、山田氏が設計した現存する最古の建築物とされています。当時の電信電話の需要拡大を背景に、新型交換機導入のための条件となる重量・高さ・防塵に優れた内装、流水防火装置を備える当時の技術の粋を集めた、鉄筋コンクリート造り三階の建物です。



建設当時のまま残っている漆喰の天井装飾



天井装飾



山田 守氏の特徴である優美な曲線の階段室

2. 建物の現在について

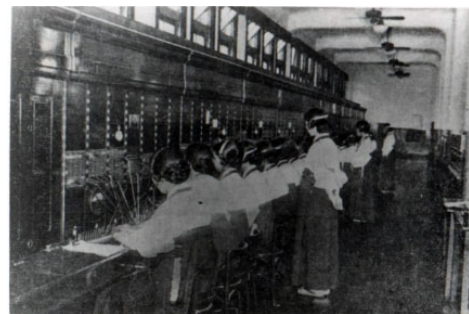
現在では「門司電気通信レトロ館」として、西日本で唯一の電信電話の博物館を運営しており、地域の皆さまを始め、国内外より年間約1.5万人以上の方にご来館いただいております。



公衆電話機の歴史



電話機の歴史



明治時代の電話交換業務の様子

館内では、懐かしの電話機や公衆電話、携帯電話などの歴史が体感できる展示コーナーや、実際にモース信号や、電話交換手の仕事体験、自動交換機につながる仕組みが間近でご覧いただけるコーナーがあり、世代を超えてさまざまな方にお楽しみいただける施設となっております。

通信技術が飛躍的な進展を遂げる中、私たちはこの歴史を次の世代へ引き継ぎ、多くの皆さまに触れていただきながら、長きに渡り支えてくださっている地域の皆さまのお力になれるよう、これからも地域の活性化に貢献してまいります。皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

この100周年を記念いたしまして、2024年9月12日～2024年10月31日の間、ご来館頂きました皆さま全員に、記念ノベルティ（オリジナルマスキングテープもしくはオリジナル付箋紙）をお渡しいたします。皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

【門司電気通信レトロ館（NTT 西日本）】

〒810-0856 福岡県北九州市門司区浜町4番1号

開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12/29～1/3）

<https://www.ntt-west.co.jp/kyushu/moji/>